

YŪKI ATAE

創作人形作家 与 勇輝 (あたえゆうき)

木綿の布を素材に作られた与 勇輝作品。「人形」と呼ぶことがためらわれるほど、その姿は自然体で生き生きとしています。

作品のほとんどは子どもたち。懐かしい着物姿の子ども、日常の光景、自由と夢想の世界に棲む妖精。ひとつひとつに作者の想いが詰め込まれた作品は、時代や着ている物は違っていても中身は同じです。純粋無垢、動物的にということを中心に置き、子どもと同じ目線、子どもに同化してつくるように心がけられ、嬉しさや悲しみ、淋しさなどが入り混じった人間そのものが表現されています。

郷愁に満ちたその表情は、日本のみならず世界中の人々を魅了しています。



与 勇輝 略歴

- 1937(昭和12年) 神奈川県川崎市生まれ
- 1963(昭和38年) 日本デザインスクール(現・日本デザイン福祉専門学校)卒業
- 1965(昭和40年) 会社勤務の傍ら、布の材質にこだわった創作人形作りを始める
- 1991(平成 3年) パリ装飾芸術美術館「世界の人形・今昔展」招待出品
- 1993(平成 5年) 山梨県河口湖町(現・富士河口湖町)立河口湖ミュージアム・与 勇輝館開館
- 2001(平成13年) ニューヨークにて個展を開催
- 2007(平成19年) パリ・パカラ美術館にて個展を開催。テレビ朝日「神様のかくれんぼ」放送
- 2010(平成22年) サンパウロにて個展を開催。卓越した技能者(現代の名工)表彰を受ける
- 2013(平成25年) 昭和・メモリアル 与 勇輝展を開催し、全国巡回
- 2020(令和 2年) パリ日本文化会館にて個展を開催
- パリ凱旋・傘寿記念 与 勇輝展 創作人形の軌跡を開催



ミュージアの棲み家

KAWAGUCHIKO MUSE MUSEUM

YŪKI ATAE

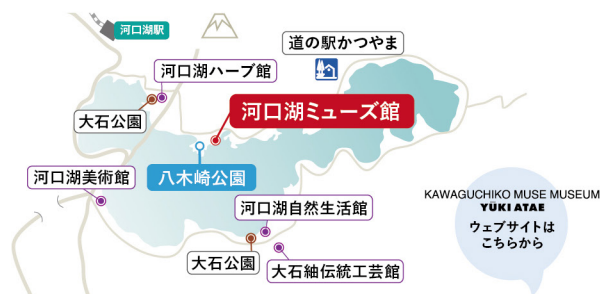
Michelin Green Guide Japan

★★ ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに掲載されました

河口湖ミュージアム・与 勇輝館は、創作人形作家・与 勇輝(あたえゆうき)の作品(ミュージアムたち)を常設展示する河口湖のほとりの小さな美術館です。

1993(平成5)年6月に開館し、2023年(令和5)年で30周年を迎えました。木綿布の温かみのある作品と併設のカフェやバラと宿根草の小さなガーデンで安らぎのひとつをお過ごしください。

- 入場料**
- 一般・大学生 600円(540円)
 - 中学生・高校生 400円(360円)
 - ※小学生以下 無料
 - ※()内は8名様以上団体割引
 - ※障害者 無料(手帳をご提示ください)
 - ※ミュージアムショップ・カフェ・ガーデンの入場は無料です
- 休館日** 毎週木曜日(祝日の場合は開館)
展示替え日(3月・9月)
- 開館時間** 9:00~17:00(入館は16:30まで)
※感染症対策等で変更する場合あり



KAWAGUCHIKO MUSE MUSEUM
YŪKI ATAE
ウェブサイトは
こちらから



河口湖ミュージアム 与 勇輝館

〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立923 八木崎公園
TEL.0555-72-5258 FAX.0555-72-4844
HP:<http://www.fkchannel.jp/muse/>
e-mail:muse-atae@fkchannel.jp

河口湖ミュージアム 与 勇輝館

湖のほとりの小さな美術館



KAWAGUCHIKO MUSE MUSEUM
YŪKI ATAE

YŪKI ATAE

創作人形作家 与 勇輝(あたえゆうき)

展示室 exhibition room

お留守番
Home Alone
1990年制作映画、第一
主人公の少女。



チュチュ



ファイト



三面鏡



忘れな草



ピアリ

展示室は与勇輝常設展、併設企画展で構成されています。
年に2回(3月・9月)展示替えを行い、展覧会ごとに作品が変わります。



フロアガイド Floor Guide



Museum cafe
ドールカフェ

河口湖を一望するドールカフェ。
バラや宿根草が咲く小さなガーデンに面したテラス席も
ご利用いただけます。



Museum shop
ChuChu

ミュージアムショップ(チュチュ)は
与勇輝グッズやお土産品を販売しています。